

日付	令和5年11月10日
担当所属	山梨県立図書館 副館長 小林久美

令和5年度「第36回山梨県図書館大会」を開催します

山梨県公共図書館協会（事務局：山梨県立図書館）では、今年度次のとおり、第36回山梨県図書館大会を開催します。

大会名：令和5年度 第36回 山梨県図書館大会

テーマ：「集う場としての図書館」

日時：令和5年11月30日（木）午前10時～午後4時

会場：市川三郷町生涯学習センター（i fセンター）

（西八代郡市川三郷町市川大門 1437-1 電話 055-272-8888 市川三郷町立図書館）

内容：

- ・読書・図書館関係表彰伝達披露
- ・記念講演「絵本と鳥の巣のふしぎ—鳥の巣が教えてくれること」
講師 鈴木 まもる 氏（画家、絵本作家、鳥の巣研究家）
- ・第1分科会「“場”としての図書館の可能性を考える」
課題提起・講義 河本 毬馨 氏（山梨英和大学 人間文化学部 助教）
事例発表① 丸山 高弘 氏（山中湖情報創造館 指定管理者統括責任者）
事例発表② 松田 彰 氏（神奈川県大和市立図書館 館長
／日本図書館協会認定司書 第1196号）
ディスカッション（登壇者3名による）
- ・第2分科会「図書館に来てみない？ —児童・生徒へのアプローチ—」
講師 青柳 啓子 氏（甲州市立勝沼図書館 司書）
講師 大江 輝行 氏（（一社）日本子どもの本研究会研究部会「YAA！」共同代表、
元・自由の森学園中学校高等学校図書館 司書）

- 山梨県図書館大会は昭和59年から始まり、今回で36回目を迎える県内で最も大きな図書館関係の研究大会です。
- 公立図書館だけでなく、学校、教育委員会関係者、ボランティア、図書館に関心のある県民など、館種や立場を越えた人々が一堂に会し、図書館の整備充実について考えるもので、本県の図書館振興に大きく寄与しています。

問い合わせ先

山梨県立図書館 総務企画課 企画振興担当：大窪

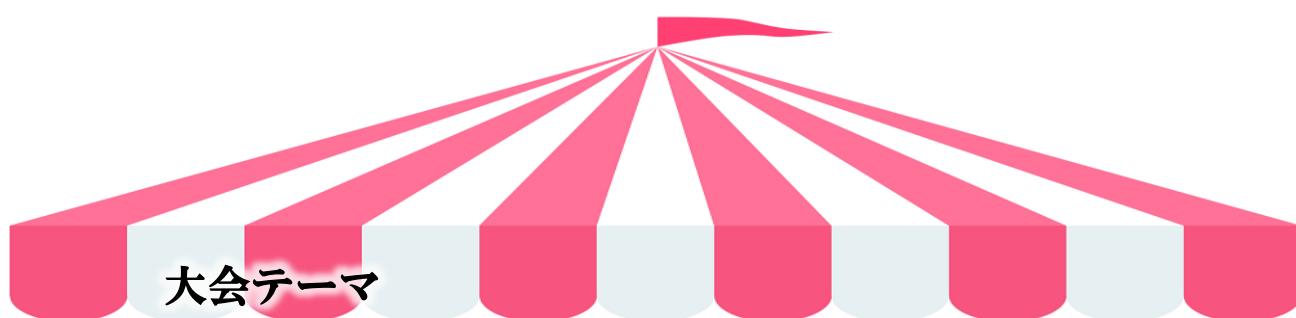
TEL 055-255-1040（直通）（県庁内線8918）

令和5年度 第36回

山梨県図書館大会

日時：令和5年11月30日（木） 午前10時～

会場：市川三郷町生涯学習センター



大会テーマ

集う場としての図書館

リアル
コロナ禍を経て、「対面」の意義が問われている。

図書館という場所に足を運んでもらうこと、
その意義と方策を考える。



主催 山梨県公共図書館協会 市川三郷町 市川三郷町教育委員会

後援 山梨県教育委員会 公益社団法人日本図書館協会
山梨県公民館連絡協議会 山梨県学校図書館教育研究会
山梨県高等学校教育研究会学校図書館部会

参加者 公共図書館、公民館図書室、学校図書館、大学・短期大学図書館、
文庫、教育委員会等関係者、図書館利用者、NPO、図書館ボランティア、
読書ボランティア、図書館に関心のある方

〔日程〕

9:30 10:00 10:30

12:00 13:00 13:30

15:40 15:50 16:00

受付	開会式	記念講演	昼食	受付	分科会	閉会式
----	-----	------	----	----	-----	-----

大会次第

〔開会式〕 10:00～10:30 〈会場：多目的ホール（2階）〉

はじめのことば

主催者あいさつ

来賓祝辞

読書・図書館関係表彰伝達披露

日程説明



〔記念講演〕 10:30～12:00 〈会場：多目的ホール（2階）〉

「絵本と鳥の巣のふしぎ—鳥の巣が教えてくれること」

講師 鈴木 まもる 氏（画家、絵本作家、鳥の巣研究家）



〈プロフィール〉

1952年、東京生まれ。東京藝術大学美術学部工芸科中退。
1980年、絵本『ぼくの大きな木』（鶴見正夫／文 偕成社）で絵本作家としてデビュー。1986年に静岡県伊豆に転居。鳥の巣の造形的魅力にとりつかれ、独学で巣の研究と収集を始める。1998年から全国各地で鳥の巣と絵画の展覧会、講演会を開催。2006年『ぼくの鳥の巣絵日記』（偕成社）で講談社出版文化賞絵本賞を受賞するなど数々の受賞作がある。絵本・童話のイラスト 200冊以上を手がけている。



【主な著書】

『せんろはつづく』シリーズ（金の星社 2003年～）
『みずとはなんじゃ？』かこさとし／作（小峰書店 2018年）
『身近な鳥のすごい巣』（イースト・プレス 2023年）他多数。

お願い（記念講演） 録画・録音・撮影は禁止とさせていただきます。

〔分科会〕 13:30～15:40

第1分科会

〈会場：多目的ホール（2階）〉

「“場”としての図書館の可能性を考える」

事例発表① 丸山 高弘 氏（山中湖情報創造館

指定管理者統括責任者）

事例発表② 松田 彰 氏（神奈川県大和市立図書館館長

／日本図書館協会認定司書 第1196号）

課題提起・講義 河本 稔馨 氏

（山梨英和大学人間文化学部助教）

ディスカッション（登壇者3名による）

コロナ禍により図書館は臨時休館し、その後も来館者が減少したことで、オンライン等での新たな活動が注目されてきた。しかしアフターコロナの時代においては、「あえて図書館に集まることの意味」についても考えることが必要ではないだろうか。県内外の先進的な取り組みを知ることで、新たに図書館に求められる役割など、図書館という場について再定義する契機としたい。



第2分科会

〈会場：研修室（2階）〉

「図書館に来てみない？ —児童・生徒へのアプローチ—」

講師 青柳 啓子 氏（甲州市立勝沼図書館司書）

講師 大江 輝行 氏（（一社）日本子どもの本研究会研究部会
「YAA！」共同代表、元・自由の森学園
中学校高等学校図書館司書）



コロナ禍による様々な制限は緩和・撤廃されたが、電子書籍やオンライン小説が普及し、読書以外の様々な趣味や娯楽も増えている中、児童・生徒に図書館へ足を運んでもらうためには、大人とは異なるアプローチが必要である。これらの年代に向けて県内外では様々な取り組みが行われており、2つの活動紹介により、今後の児童サービス、YAサービスへの参考としたい。

〔閉会式〕 15:50～16:00 〈会場：多目的ホール（2階）〉

市川三郷町生涯学習センター (i f センター) 周辺案内図

市川三郷町生涯学習センター (i f センター)
〒409-3601
西八代郡市川三郷町市川大門1437-1
電話 055-272-8888
(市川三郷町立図書館(本館))



駐車の際は、係員の指示に従ってください。

◆◆ 参加申込みについて ◆◆

方法 ①別紙「令和5年度「第36回山梨県図書館大会」参加申込書」にご記入の上、FAX、メールまたは郵送でお送りください。

②[ウェブフォームからお申し込みできます。こちらのQRコードから→](#)



参加費 無料

昼食 お弁当(お茶付きで700円)を斡旋します。
ご希望の方は参加申込書の昼食欄に○印をご記入ください。代金は当日徴収します。

申込み・問い合わせ先

山梨県公共図書館協会事務局(山梨県立図書館 企画振興担当)
〒400-0024 甲府市北口二丁目8-1
電話: 055-255-1040 FAX: 055-255-1042
E-mail shinko@lib.pref.yamanashi.jp



県立図書館ホームページ

締切 令和5年11月22日(水)

大勢の方のご参加をお待ちしています。

〔お申込み先〕

山梨県公共図書館協会事務局（山梨県立図書館 企画振興担当）

〒400-0024 甲府市北口二丁目 8-1

電話 055-255-1040 FAX 055-255-1042

E-mail : shinko@lib.pref.yamanashi.jp



ウェブフォームから
も参加申込みが
できます。こちらの
QRコードを読み
取ってください。

※FAXでお申込みの場合、送付票は不要です。このままお送りください。

E-mailでお申込みの場合は、参加申込書をメールに添付してお送りください。

令和5年 月 日

令和5年度「第36回山梨県図書館大会」参加申込書

機関／団体名 _____

電話番号 _____

FAX 番号 _____

参加者氏名	記念講演 ※1	分科会希望 ※2		昼食 ※3	備考
		1	2		
		1	2		
		1	2		
		1	2		
		1	2		

※1 記念講演に参加を希望する方は○印を記入してください。

※2 参加を希望する分科会の番号に○印を付けてください。

※3 昼食にお弁当を斡旋しますので、希望される方は○印を記入してください。

（お茶付きで700円。当日受付にて徴収します。）

■分科会に参加される方は、事前に講師の先生への質問を受け付けますので、ご記入ください。

質問事項記入欄

【記入欄が足りない場合はこの用紙をコピーしてお使いください】

申込み期限 11月22日（水）